

名和マラソンフェスタ 2008

みんなが走った!



▲第1給水所(10キ口の折り返し点)の御来屋漁港の様子。ボランティアの活躍と沿道の声援に応える選手の皆さん

快晴の5月18日(日)、名和マラソンフェスタが名和スポーツランドを発着点に行われ、県内外から1017人が参加して自慢の健脚を競いました。選手はハーフ、10キ、5キ、ウォーキング、ジョギングと体力に応じ16部門に分かれ、沿道の声援を受けながらそれぞれの走りを楽しみました。

招待選手は2回目の参加となる旭化成の安部友恵さん。5年前の2003(平成15)年に出場したハーフの部では、女子のベスト記録を出されました。今回はご主人で市民ランナーの河野文憲さんと1歳になったばかりの息子さんと一緒に来町され、ハーフの部で参加選手とともにさわやかな走りを見せました。

参加選手の中では、5キ男子中学生以下の部で、大山小学校6年生の古磯瞳衣くんが、好タイムで第4位に入賞し、健闘が光りました。

地域から参加したたたくさんのボランティアの方々も、走路誘導や給水所などに分かれ選手を応援しました。



食育の日・朝食キャンペーン

毎年6月は「食育月間」、毎月19日は「食育の日」です。そこで、今年も6月19日に県内一斉「食育の日・朝食キャンペーン」を実施しました。

大山町では、県と地区の食生活改善推進員さんの協力で、町内10保育所で、お迎え時の保護者と園児に、朝食摂取率の向上と食育の日のPRを目的に啓発ちらしとグッズを配布しました。

光徳保育所にはとりモーも登場し、「毎日朝食はんをしつかり食べましょう」といいながらグッズを渡すと、驚きながらも笑顔で答えてくれる親子の姿もみられました。

朝ごはんには①活動のエネルギー源となる②体温を上げる③胃や腸を刺激して便秘を予防する④生活リズムを整えるなどの働きがあります。1日の出発の原動力である朝ごはんを家族みんなで楽しく食べましょう。

おなかにはおはよう朝ごはん

健康増進に 役立てて マッサージチェア 3台を寄贈

高田工業団地に名和工場を構える、マッサージ機の製造販売会社「ファミリー株式会社」(稲田二千武社長 本社・大阪市)から、町内の診療所にマッサージチェア3台を寄贈していただきました。これは本町出身の稲田社長の、地元の方に喜んで使ってもらい健康づくりに役立ててほしいとの思いが実現したもので、5月28日に大山診療所、大山口診療所、大山口リハビリセンターに1台ずつ設置されました。肩や背中のほか足までマッサージができます。待合時間にぜひご利用ください。



◀設置された
マッサージチェア
(大山診療所)